

★地区代表アンケート+ヒアリングまとめ

	森岡地区	緒川地区	緒川新田地区	石浜地区	生路地区	藤江地区
1 現在の啓発活動について	地区住民の関心はないと思われる。	一定の人には理解されていると思うが、世間一般には、まだ認識・理解度は低いと思われる。	ほとんど認識・理解されていないと思われる。	理解がされているか不明だが、理解を深めるために、各公共施設に掲げられている一人当たりの行政コスト表示は最新情報とすべきだと思う。	農協の支店合併があったこともあり、公共施設も統廃合をするのではないかという不安もあるが、危機感を感じている人は少ないと思われる。	ほとんどの方は理解が希薄だと思われる。
2 需要の高い施設	不必要な施設は無い	○コミュニティセンター ○緒川老人憩の家	○コミュニティセンター ○児童館 ○老人憩の家 ○ふれあいセンター ○東ヶ丘交流館	○コミュニティセンター ○区民館	○体育館	○コミュニティセンター
3 需要の低い施設及び部屋	特に無い	○コミュニティセンター調理室 ○相生老人憩の家	○コミュニティセンター2階和室 ○調理室	○老人憩の家	○体育館の調理室	○公民館 ○老人憩の家 ○コミュニティセンター和室
4 再編への意見等	○統合すること自体は問題ないと思う。 ○保育園、なかよし学園、児童館を区画整理の中に移動する案が考えられる。 ○コミュニティセンター、老人憩の家、郵便局、コンビニ等も保育園の近くにあるような整備が出来ると良い。 ○保育園の統廃合に伴い通園距離が遠くなるなら、駐車場を確保する等、不便さを解消できるような対応をし、反対意見を抑えるような安心感を与えることをしてほしい。 ○森岡西保育園跡地は未満児保育として活用できると思う。 ○統合するなら地区の中央付近が望ましい。	○公共施設は統合するのではなく、複数箇所に点在しているべきである。 ○老人憩の家や児童館は今の場所で近接していても問題ない。しかし、騒音問題や、子どもの砂遊びの場所がなくなるため、別々の建物にすべきである。 ○緒川コミュニティセンターのような施設ではなく、自分たちで使える集会所があると2つほど欲しい。 ○防災倉庫が不足している。 ○集約する際の立地は、現在のコミュニティセンターがある位置が望ましい。	○複合施設として、コミュニティセンター、老人憩の家、児童館、図書館、医療センターが含まれると良い。 ○今の高齢者は子どもが近くにいることを好まないと思う。 ○複合施設とする場合にも、誰もが使える共用部とは別に、各機能の専用室が必要だと考えている。 ○小さい子どもを連れて入れるような飲食店が少ないので、コミュニティセンターがそのような場所になるといいと思う。 ○ふらっと集まれて、フリーに使えるような場所があるといい。 ○統合するなら名古屋半田線南部の駐在所付近が望ましい。	○1階をコミュニティセンター、2階を老人憩いの家、3階を保育施設や多目的室の複合施設として、幼老交流の場ができれば良いと考えている。 ○コミュニティセンターは地域別にあるべきであると思う。 ○石浜コミュニティセンターを建て替える際、部屋数を増やしたい。特に調理室がないことが課題である。 ○区民館を複合化する場合、今のような自由度（飲食ができる等）は維持して欲しい。 ○東浦中学校は東浦町体育館近くに移転して複合的役割を果たす施設として欲しい。 ○石浜老人憩の家ではカラオケ利用により賑やかな状態となる。保育施設と集約する場合、騒音問題等も考慮する必要がある。	○今まであったもの（施設や部屋）がなくなることはない抵抗がある。 ○将来、生路コミュニティセンターを建替える時に、生路老人憩の家を統合するとした場合、いつでも利用できるように専用の部屋を設ける等の対応が必要であると思う。 ○児童館とコミュニティセンターを入れ替えるのは、高齢者にとって使いやすいと思う。 ○小学校とコミュニティセンターの統合については、今の地区の人で反対する人はほばいないのではないと思う。 ○昭和生まれの人は地区別に小さいのが良いと言うが、若い人は豪華で大きな施設をとということも考えられる。若い人は車でイオンモールまで行く生活をしているので、考え方が違うと思う。 ○集約する際の立地は、現在のコミュニティセンターの位置が望ましい。	○老人憩の家の利用について、老人クラブ等のくくりはいらないように感じる。 ○駅前にマンションが建設されたことで、国道366号の拡幅がしづらい状態となっている。中学生が通学するのに危険である。そのためにも、東浦中学校の場所は東浦高校近く等に移転すべきである。 ○保育園、児童館、小学校は統合しても良いと思う。 ○昨今の小学生の夏休みは、児童館に遊びに来て外で遊ぶようなことがない。集約できれば、老人の経験を活かした遊びを提供できると思う。絶えず一緒に遊ぶことは難しいが、交流広場のようなものがあれば活発に遊ぶことができる。 ○集約する際の立地は、公民館の場所が集まりやすい。 ○小学校を複合施設とする場合、立地は公民館付近が望ましいが、国道東側は浸水危険区域に含まれているため、現在の位置に集約することは理解できる。
5 その他	○公共施設削減の理由としての人口推計をまずは見直すべきである。 ○公共施設を減らして経費削減をするより、人件費削減や市町村合併等でお金を増やす努力をすべきである。 ○コミュニティセンターは、エレベーターがないので、2階の講義室や調理室に行きづらい。 ○非常時のため、コミュニティセンターに太陽光発電を設置してほしい。 ○ホールが狭く、コミュニティ祭りや総会でも収容人数を制限することがあり、広くしてほしい。	○緒川コミュニティセンターの利便性を高めるために土足利用とすることも考えられるが、文化センターのように定期清掃が入っているわけでは無いため、掃除が大変になってしまうことからなかなか土足利用にできない。	○エスぺランス丸山（阿久比町勤労福祉センター）で会議をすることがある。 ○卯ノ里コミュニティセンターは住宅街から離れており、車でないと移動が困難なため不便である。避難所としても不便である。	○エレベーターを付け、トイレと廊下を広くしてほしい。	○はなのき会館や町民体育館は、地区というより町全体の所有物の認識であり、体育協会や競技団体が利用している。はなのき会館は学校に行けない子どもたちのために使われており、地区住民は使いづらい雰囲気がある。 ○生路老人憩の家は、一般人も使いやすいルールとなっているが、老人会が管理しているため自由に使いづらい。	○区が国道366号で分断されており、道の東側に住んでいる人はコミュニティセンター側に来づらい。 ○藤江地区は土地があり、集約しやすい地域だと思っている。藤江地区を最初のモデル地区として取り組んでいただきたい。 ○コミュニティセンターに公民館機能が移動した際は、反発があったが、今は慣れている。